養心

第3号
2007年12月23日発行
楊名時太極拳養心会
発行人 楊　麻紗
事務局
〒164-0003
東京都中野区東中野
1-11-16-508
TEL 03-3365-5868
FAX 03-3365-5118
ホームページ
www.taikyokuken.jp
題字　楊　名時 先生

養心会三つの心

争わない心
拘わらない心
焦らない心

■篠島合宿交流会

杉江　満寿夫

港の入口に姿をあらわした高速船が、みるみる近づいて桟橋に横付けになる。満員の乗船客が次々と、小さな出口から現れる。岸壁で、"歓迎　楊麻紗先生　ようこそ篠島へ"と書かれた大きな看板を前に、手を振って、「いらっしゃいー」と出迎える人々の声。その後方で大漁旗がはためく。「篠島養心会合宿交流会」のドラマの幕開けである。

小春日が射し込む体育館

名古屋から南に突き出た長靴状の知多半島の先端から約4㎞の伊勢湾上に浮かぶ、神秘とロマンの島、篠島で11月16日(金)、17(土)の二日間にわたって、養心会師家・楊麻紗先生と、主催者のたっての願いで楊砂織さんのお二人をお迎えして交流会が開催された。当初の予定より参加者が大幅に増え、100名を越す盛況となった。

「本日は晴天なり」の通り、空は晴れて小春日和に恵まれ、楊名時先生の祝福の声が聞こえそう。ホテルで着替えもそこそこにホテルに隣接する、篠島中学校体育館に集合し、一日目の稽古を「ニーハオ」でスタート。

当初の計画では内輪の合宿のつもりだったが、15の教室からの参加があり、関東方面、関西方面、近郊の尾張・三河方面からと、全国規模の多彩な顔ぶれとなった。楊麻紗先生を中心に和やかな雰囲気で稽古を堪能した。

この日のもう一つの狙いであった、日本夕日百景の一つである、篠島の夕日観賞をするため、稽古着姿のまま、万葉の丘まで篠竹の茂る小道を散策。小島を背景に広がる海の夕暮れを楽しむ。

午後6時半から、大広間で開催された懇親会が圧巻であった。くじ引きであたった席で、隣あった初対面の人たちが、あたかも10年来の知己との再会を喜び合うように、話しの花が咲き、笑顔が会場一杯に満ち溢れていた。地元の方の奇抜でユーモアあふれる出しものに、全員抱腹絶倒、飛び入り者も続出し、最後は全員が踊りだすという、信じられない光景となった。全員が心から喜びにあふれ、楽しんだ、至福のひと時であった。みんなが「こんなに楽しい宴会は初めて経験した」と。会場に精霊・天使があらわれ一緒に乱舞し祝福しているようであった。まさに全員の心が一つになった瞬間を経験できた。

翌朝、島の東側の砂浜の海岸で、日の出時刻にあわせ6時半から早朝稽古が行われた。海の向むこうの空が明らむのを見ながら、海の生まれたての気を身体一杯に取り入れて、昨晩の幸せの余韻を楽しみながら演舞を楽しんだ。

9時半から二日目の稽古が体育館で行われた。全体稽古の後、楊麻紗先生の模範演舞、参加者を4つのグループに分け、お互いに皆さんの前で演舞を披露する「演舞披露」、さらに地元教室生徒の楊麻紗先生の前での審査(師範1名、指導員7名、中傳5名、初傳2名)が行われた。地方では、見る機会の少ない「楊麻紗先生の演舞」を目の当たりにし感激と感動。グループごとの「演舞披露」も極めてレベルが高く、過去にもこんな交流会を経験したことがない。急に一段も二段も一気に進歩したようである。

楊麻紗先生のご挨拶にもありましたが、「争わない、競わない」人を本当に思いやる「楊名時太極拳」の原点が、現出した交流会であったと思う。心底から全員が心を一つに出来た、そして多くの方が、新しい知己を得る事が出来た。主催者の自画自賛ですが、100点満点、いや120点の篠島養心会合宿交流会であったと思います。

■端雲に楊名時先生が

山名　暁美

この合宿交流会は、常滑の杉江満寿夫師範が週に一度篠島へ太極拳の指導に通われていること、そして二年前に楊麻紗先生が島に記念樹を植えたご縁もあり、トントン拍子に進んで行ったとのことでした。

交流会は、海の見える篠島中学校の体育館で行われました。参加者全員による演舞は、ピッタリと息が合い、初対面同志とは思えない程です。稽古の後は、夕日の美しい万葉の丘へ移動。

薄茜色の空に、瑞雲が棚引いていました。その瑞雲が楊名時先生の横顔に見えたのです。

「あ、楊名時先生だー」

と叫んでいました。一緒の仲間も感極まった様子で、いつまでも瑞雲を眺めていました。

篠島の海の幸づくしの夕食。腹を抱えて笑い泣きした夜の懇親会。やさしい波の音と清浄な空気の下での早朝稽古。楊麻紗先生の模範演舞に感動し合唱する青年。各グループの気息の整った演舞。どれを取っても感動的であり、有意義でした。島の観光も印象に残ります。

篠島の皆様の温かなおもてなし、伸びやかな明るさは忘れられません。この合宿交流会にご協力頂いた全ての皆様に、心から謝々ー

夕日百景の柔らかな夕日

■参加者の声

「篠島の皆さんの温かい歓迎に涙がでました」
「各教室の演舞が大変参考になりました」
「大きな気の流れを感じました」
「麻紗先生の流麗な太極拳に感動しました」
「早朝稽古で自然との一体感を覚えました」
「こんな楽しい宴会は初めてです」

篠島の浜辺に演舞す太極拳　吉野テル
朝凪渡り薄日射すなか
ゆっくりと篠島巡る石蕗日和　楊　麻紗

全員が心から喜び合った懇親会

■指導者研修会

高橋　裕子

楊麻紗先生による、九月、十月、十一月の指導者研修会は二面鏡張りのスタジオで、実技を中心行に行われました。

第一と第二回目は型の品格がテーマで、「太極拳の型に舞う人の品格が表れる。品格とは打算をしないところから生まれる」との楊名時先生の名言が紹介されました。実技面での品格は足の捌き方に係っているので、「弓歩」の練習を鏡を見ながら行いました。

第三回目は、人体の主要経穴(百会、気海、労宮、湧泉)の復習から始まりました。そして二十四式の①～④までの型を取り上げ、弓歩の両足の幅と距離の取り方、手の置き所、手・腰・足の関連性など詳細な解説がありました。

特に今回は、モデルを使っての具体的なご指導でしたので、参加者は大切なポイントをしっかりと掴むことが出来ました。「虚実とその変化」のお話も大変参考になり、大好評でした。

モデルを使っての実技指導

※来年の定例指導者研修会は、三月二十三日、四月二十七日、五月二十五日(予定)に開かれます。場所、時間は前回と同じです。ご不明な点がありましたら、養心会事務局へお問い合わせ下さい。

■なにわ友の会に招かれて

主宰　楊　麻紗

大阪の茶木康晴師範が名誉会長を務める「健康太極拳なにわ友の会」に招かれて、九月三十日に出席しました。会場の鶴見区民センターの大ホールには、去年より多い参加者の熱気で溢れていました。

十時から四時までの長時間にわたって、各教室の演舞披露が行われ、長すぎて飽きたり疲れたりしないのかと心配しましたが、杞憂でした。不老拳と八段錦の一つを組み入れた構成に、私は教えられました。茶木康晴師範の十五分かけての模範演舞は、素晴らしいの一言。腰の安定と風格は楊名時先生そっくり。

師範審査も実に見事でした。楊名時太極拳がしっかりと守られていて、感心しました。

■新潟から

井川　芳子

十一月三日、新発田で研修会が開かれ、楊麻紗先生のお供で二人の師範と私が出席しました。抜けるような青空と桜紅葉の美しいお城の広場で、肩ならしの不老拳を舞い、会場の小学校へ向いました。

歴代の校長の額が掛けられている多目的ホールには、参加者で溢れ二回に分けて稽古しました。立派な指導者が育っているため、型も間合いも私達と変りありませんでした。

終了後の茶話会では、皆さんと本音で語り合うことができ真の交流ができたと思います。参加者から「二組に分かれての稽古が勉強になった」、「東京の先生方の模範演舞をみてすっきりした」と感謝の声が寄せられたとのことです。

大好評だった模範演舞

■市川寿子師範を悼む

主宰　楊　麻紗

九月二日、役員の市川寿子師範が急逝しました(享年七九)。亡くなる四日前の稽古では笑顔で別れ、前日の夜の電話では元気な声で、私にアドバイスをして下さいましたので、まだその死が信じられません。

市川寿子師範は千葉で大勢の弟子を束ねる指導者で、楊名時先生を支え師範名簿の作成や写真整理など、楊名時太極拳普及に多大な貢献をされました。

養心会設立後は私の片腕となって働いて下さいました。「養心会のためにあと十年は死なない」が、私との約束でした。それを果たさないまま旅立たれてしまいました。残念無念です。

市川師範色々とありがとうございました。いつか又、楊名時先生の元で会いましょうー

はやばやと師家の膝下に巨星墜つ　吉利　正彦

（絵／杉崎昭子）

お知らせ

2008年新年懇親会

楊名時太極拳養心会の「２００８年新年懇親会」を下記のとおり開催いたします。皆様のご出席を心からお待ちしております。

日　時	2008年2月17日(日) 12:00～15:00(受付11:30～)
場　所	グランドプリンスホテル赤坂 1F 赤瑛の間　着席ビュッフェスタイル
会　費	10,000円
定　員	130名
申　込	教室単位。教室担当の先生方は、ご面倒でも出席者および会費の取りまとめをお願いいたします。(申込〆切2月8日、出席者名および会費を郵便書留で事務局へ送付)

<交通のご案内>
グランドプリンスホテル赤坂
〒102-8585　東京都千代田区紀尾井町1-2
TEL 03-3234-1111
●地下鉄銀座線・丸ノ内線赤坂見附駅(赤坂地下歩道[D]紀尾井町方面口から徒歩1分。
●南北線永田町駅(9-a口)隣接。
●半蔵門線永田町駅(7番口)から徒歩2分。
●有楽町線永田町駅(9-b口)から徒歩2分。
●麹町駅(麹町口)から徒歩5分。

フランスの古城で太極拳!!

パリから西南へ二時間余り、ロワール地方ブロアに、三百年前に建てられた、ラ・モットという古城があります。三田恭子先生が主宰する絵画グループは二年に一回、六万ヘクタールもある庭園で日本祭を開いています。来る二〇〇八年六月、リラの花咲く頃、太極拳を演舞してみませんか。08.6月22日頃出発～6月29日頃成田着
南フランス3泊　パリ2泊の予定
連絡先　045-251-0722　高橋裕子まで

中川　りつ　5万円
なにわ友の会　5万円
寄付を頂きました。

ホームページ用原稿募集!!

ホームページを更に充実したいと思います。各地の行事、情報、レポート、写真等、事務局までお寄せ下さい。

●ホームページアドレス●
http://www.taikyokuken.jp

【編集後記】
第三号は「篠島合宿交流」の特集です。大成功を収めましたので、来年からは全国規模で行いたいと思います。お寒くなりました。インフルエンザが最速で流行しています。皆様、健康には十分留意して新年をお迎え下さい。